弘前里山ツーリズム

- ○震災前までは、グリーン・ツーリズムのメッカだった地域だが、状況は大きく後退。 弘前市自体は、春から秋にかけては40万人以上が来訪しているが、冬期には大きく減少するため、集客が可能な滞在交流型の観光コンテンツが求められている。また、台湾を中心としたアジア圏の観光客の冬の取り込みも、急務となっている。
- ○弘前市の観光やグリーン・ツーリズムの課題である「冬期」の誘客、新しい客層の取り込み、アジアを中心としたインバウンド農泊受入れ体制の強化を行い、農 泊ビジネスを足掛かりにさらなる地域の発展を目指す。



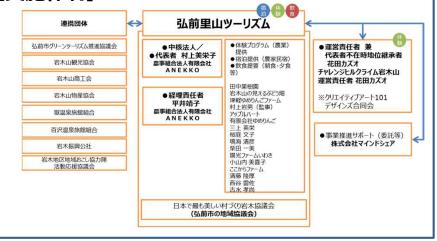
【採 択 年 度】 平成30年度

【事業実施期間】 平成30~31年度





【実施体制】



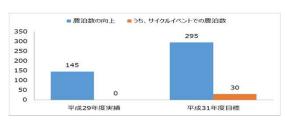
【特徴的な取組】

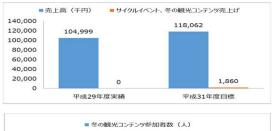
- ①サイクル・ツーリズム×農泊推進体制づくり
 - ・検討会開催、サイクリスト・ニーズ調査、サイクリスト受入れセミナー、ツーリズムコース整備 ※農泊サイクルコース5コース設定等
- ②冬期の滞在交流型観光コンテンツづくりとそのPR
 - ・冬期コンテンツ作成、情報発信(動画、あそビュー)、ウェブマガジン「FRAME」への記事広告掲載、動画制作
- ③アジアを中心としたインバウンド観光客の農泊体制強化(農家民宿の受入れ実態調査、既存の指さし確認ツールの調査

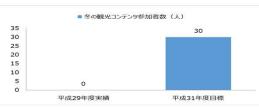


【取組内容】

- ①サイクル・ツーリズム×農泊推進体制づくり
- ②冬期の滞在交流型観光コンテンツづくりとそのPR
- ③アジアを中心としたインバウンド観光客の農泊体制強化
- 〇平31年度 <国内>
- 1)農泊数の向上
 145泊→295泊へ
- 2)内、サイクルイベントでの 農泊数 0泊→30泊へ
- 3)売上高 104,999千円 →118,062千円へ
- 4) サイクルイベント、冬の観光コンテンツ等売上げ0円→1,860千円へ
- 5) 冬の観光コンテンツ参加者数 0人→30人へ







インバウンド対応状況(青:対応)					
Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュ レス	外国語 HP	外国語 案内表示	外国語 ネット予約
?	4	¥		Aa	